

施策評価シート

【施策の概要】

		登録者(課長)名【1】	協働コミュニティ課長 浜名 幹男		
		主管課(関係課)【2】	協働コミュニティ課(生活福祉課、文化振興課、教育指導課)		
施策名【3】		分野【4】	まちづくりの方向性【5】		
協1-1 市民主体のまちづくりの推進		まちを支える市民のために	協働で拓くまちづくり		
概要	施策全体の課題【6】		施策実現へむけたキーワード【7】	施策の目標【8】	
	社会環境の変化や市民活動への市民意識の高まりに応じて、コミュニティ活動・市民活動への支援を充実させる必要があります。運営面での支援やコミュニティ施設の改修をはじめ、地域交流活動事業の実施などにより、コミュニティ活動・市民活動のための場・機会・情報の提供を進めることが重要です。また、市民活動などを促進するため世代間交流を促進し、まちづくりに積極的に参加できる環境をつくることです。		・地域コミュニティ活動、市民活動への支援 ・世代間交流の促進 ・コミュニティ施設の改修 ・地域コミュニティの実態調査	市民の視点にたった活動の場や機会を充実させ、市民が主体的にいきいきと“まち”で暮らすための条件を整えます。	
	留意すべき点(都などの制度の変化・その他制約条件・社会環境の変化)【9】				
特になし					
事業群	事業群名【10】		事業群の施策上の位置づけ【11】		
	1	コミュニティ活動を支援します	コミュニティ活動しやすい環境の充実		
	2	コミュニティ活動を支える場・機会・情報の提供を進めます	コミュニティ活動を支える場・機会・情報の提供		
	3	ボランティア活動を推進します	ボランティア活動の推進		

【施策の成果】

			年度	19	20	21	22	23	24
成果指標【12】	指標1	名称	「市民主体のコミュニティ活動の支援」に対する市民満足度						
		算出式・説明	コミュニティ活動を支援するうえで市民のニーズがどこにあるかを把握することで、市民参加を推進することが可能になります。市民意識調査で把握します。						
		目標値	20%				単位	%	
		実績値	16	16	16	16.9			
	達成率	80%	80%	80%	85%				
	指標2	名称	市民まつり来場者数						
		算出式・説明	市民交流の場としての市民まつりを活性化させることにより、コミュニティ活動のさらなる推進が期待されます。						
		目標値	98,000人				単位	人	
		実績値	95000	105000	135000				
	達成率	97%	107%	138%	0%				
	指標3	名称	ボランティアの登録者数						
		算出式・説明	ボランティアをしたい人を登録し、地域のコミュニティ形成及び活動の活性化が期待されます。						
目標値		400人				単位	人		
実績値		298	354	459					
達成率	75%	89%	115%	0%					
指標4	名称								
	算出式・説明								
	目標値					単位			
達成率の平均値			84%	92%	111%	28%			

【市民意見】【13】

平成19年度		平成22年度	
満足度(%)	14.5%	満足度(%)	15.9%
満足度(平均ポイント)	-0.04	満足度(平均ポイント)	-0.06
重要度(%)	57.8%	重要度(%)	58.9%
重要度(平均ポイント)	0.63	重要度(平均ポイント)	0.61

各年次の市民意識調査で、施策ごとの「満足、やや満足」「重要、やや重要」の合計値として算出しています。

【一次評価】

検証項目	施策の成果と課題	施策成果の目標達成状況【14】	<input type="checkbox"/> まだ未達成	<input checked="" type="checkbox"/> ほぼ達成	<input type="checkbox"/> 目標を大きく上回る	
		意識調査での満足度【15】	<input type="checkbox"/> 平均を下回る	<input checked="" type="checkbox"/> ほぼ平均	<input type="checkbox"/> 平均を上回る	
施策の成果と課題【16】		<p>◇コミュニティ活動の支援については、学校の授業や部活動などに地域教育協力を積極的に活用することで世代間の交流を推進してきました。今後の課題として、基礎的なコミュニティの単位である自治会・町内会の実態把握に努めるとともに、市民意識の調査等を実施して基礎資料を作成していく必要があります。</p> <p>◇市民まつりについては、市報・チラシによる広報等や多くの魅力有る出店、発表等参加団体が概ね定着して参加できるようなイベント環境づくりをしてきたことにより、平成21年度までにかけて来場者数の増加を実現してきました。実行委員会形式を通じた市民による市民のためのイベントとして、より多くの来場者が一同に会し交流していけるよう定着させていくことが求められます。</p> <p>◇ボランティア活動や市民活動の推進については、市民協働推進センター「ゆめこらぼ」、男女平等推進センター「パリテ」の開設や、地域に暮らす外国籍住民を支援する多文化共生センターの設置、社会福祉協議会が実施するボランティア・市民活動センターとの連携により、市民活動の支援の充実や市民のボランティア活動に対する理解促進と参加拡大に努めてきました。</p>				
検証項目	今後の方針	施策の重要性の変化【17】	<input type="checkbox"/> 弱くなっている	<input checked="" type="checkbox"/> 以前と同程度	<input type="checkbox"/> 強くなっている	
		意識調査での重要度【18】	<input checked="" type="checkbox"/> 平均を下回る	<input type="checkbox"/> ほぼ平均	<input type="checkbox"/> 平均を上回る	
今後の方針【19】		<p>◇コミュニティ活動の支援については、地域教育協力者に地域の多様な人材を活用することで、引き続き広い世代間の交流を推進していくとともに、自治会・町内会について、市民への意識調査、先進市への調査等を実施して、防犯団体等を含めた防災、防犯、みまもり等における基礎資料の作成をしていきます。その上で、団体間や市とネットワークや協働を検討していきます。</p> <p>◇市民まつりについては、実行委員会形式を通して、より多くの市民が西東京市で出会い、交流できるイベントとして、PRをし、充実した企画内容により来場者増を図ってまいります。</p> <p>◇ボランティア活動や市民活動の推進については、市民協働推進センター、男女平等推進センター、多文化共生センター等の効果的な運営やボランティア・市民活動センターとの連携の強化により、さらなる支援の充実に向けていきます。また、地域の活動を支えるコミュニティ施設として、市民交流施設、文化施設等については、老朽化等の状況を踏まえ計画的な施設整備に努めていくとともに、活用度の向上のため市報等を通じたPRに努めていきます。</p>				
総合評価	施策内容の方向性【20】	<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 絞込み		
	施策実施コストの方向性【21】	<input type="checkbox"/> 重点化	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 効率化		
	施策実施方針【22】	V	コスト、成果ともに現状を維持すべき施策領域			

【一次評価後の事情変更等】

説明【23】	なし
--------	----

【行革本部評価】

総合評価	施策内容の方向性【20】	<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 絞込み
	施策実施コストの方向性【21】	<input type="checkbox"/> 重点化	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 効率化
	判断理由等【24】	市民主体のまちづくりの推進については、コミュニティ活動の支援や、様々なボランティア活動の推進に取り組んできました。市民意識調査では、将来における重要度は相対的に低いという結果となりましたが、市としては、地域コミュニティによる「共助」として福祉・防災・防犯等の取組みやボランティア活動の活性化を期待しているところであるため、施策内容・コストとも現状計画ベースを維持することと判断しました。		
施策実施方針【22】	V	コスト、成果ともに現状を維持すべき施策領域		

【施策内の事務事業貢献度判定】

協1-1 市民主体のまちづくりの推進

事業群	名称【25】	担当課【26】	概要【27】
	（仮称）コミュニティ検討委員会の設置に向けた調査・研究	協働コミュニティ課	防犯や高齢社会への対応策として、コミュニティの重要性が唱えられていることから、西東京市のコミュニティのあり方について、庁内検討組織を設置し検討を行った上で、市民を交えた検討委員会により、現状や課題の把握を行い、情報発信や基盤整備を含め、地域コミュニティのあり方の調査研究を行います。
2	西東京市民会館のあり方について検討（再掲）	文化振興課	（創3-4で再掲） 公共施設の適正配置・有効活用について、今後基本方針を定め、その方針に基づき統廃合、機能融合等による適正配置の取組を進めることとなっています。
	世代間交流事業の実施	教育指導課	（創2-3 地域教育協力者活用事業等で実施） 特色のある教育の推進及び教育活動の充実に向け、積極的に地域の人材を部活動指導やゲストティーチャーとして活用することを目的に、学校の年間執行計画に基づき、地域協力者の謝金を学校に配当しています。
	市民まつり実行委員会への支援	文化振興課	市民まつりをおして西東京市への来訪者増を図り市をPRします。また、まつりを好機として市民間の交流を展開していきます。実施に当たっては実行委員会方式をとっており、西東京市の活性化（集客増・市民交流増）のために、毎年11月の第2土・日曜日の2日間市民まつりを開催し、さまざまなイベント等を行います。
3	西東京ボランティア・市民活動センター事業への支援（人件費補助）	生活福祉課	社会福祉協議会が実施主体となり、ボランティア・市民活動センターを設置・運営し、相談、情報提供を行うと共に講習会等を開催し、市民のボランティア活動への理解と参加を広めます。また、教育課程における総合的な学習の時間に協力し、福祉教育を推進します。
事業の合計			

総コスト(千円) ：評価年度【28】	事務事業の 評価 (直近)【29】		26市の サービス 水準との 比較【30】	施策における位置づけ【31】	貢献度 【32】	
	事業費	人件費				
0	0	0	-	-	小学校区ごとにふれあいのまちづくり事業など地域でのコミュニティ活動の支援を行います。	A
3,249	998	2,251	-	-	市民を交えてコミュニティのあり方の検討を行うことで、市民主体のまちづくり、協働のまちづくりを進めることができます。	A
0	0	0	-	-	老朽化が進んでいる市民会館について、公共施設の適正配置という観点からあり方の検討をします。	B
0	0	0	-	-	学校の間を活用して、世代間の交流の機会を提供することができます。	A
19,181	9,000	10,181	改善・見直し (平成18年度)	上	市民交流の場となっている市民まつりを活性化させることで、コミュニティ活動のさらなる推進や、世代間交流・活動団体間交流の促進が図られます。	A
10,503	9,129	1,374	改善・見直し (平成21年度)	中	ボランティア・市民活動センターの事業を通じて、ボランティア活動の理解促進と参加の拡充、福祉教育の推進が図られます。	A
32,933	19,127	13,806				